



2023年2月20日

各 位

会 社 名 株式会社ユーシン精機
代表者名 代表取締役社長 小谷 高代
(コード番号 6482 プライム市場)
問合せ先 取締役副社長管理本部責任者 小田 康太
電話番号 075-933-3633

サステナビリティ基本方針およびマテリアリティについて

持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上に向けて、当社グループのサステナビリティ基本方針を決定するとともに、マテリアリティ（重要課題）を特定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針

私たちは省力化ソリューションの提供を中心とした事業活動を通じて
サステナブルな社会・環境の構築に寄与するとともに、
持続的に事業を発展させ、企業価値を向上することを目指します。

2. マテリアリティ（重要課題）

【事業を通じた社会課題の解決】

- ・労働安全性の強化
- ・お客様工場の生産性向上
- ・気候変動への対応

【当社グループの持続的成長に向けた経営基盤の強化】

- ・人的資本の強化
- ・コーポレート・ガバナンスの強化

※詳細については別紙をご確認ください。

3. サステナビリティ委員会体制

委員長 代表取締役社長

委 員 開発本部責任者、管理本部責任者、製造本部責任者、資材本部責任者、営業本部責任者

以 上

マテリアリティ（サステナビリティ重要課題）の特定

当社では、2022年8月にサステナビリティ委員会を設置、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の検討を開始し、2023年2月に5つのマテリアリティを特定しました。

特定にあたってはステークホルダーの視点と当社グループ経営の視点でのマテリアリティ候補をリストアップしました。それらのマテリアリティ候補について経営会議および各本部から選出されたメンバーによる討議を行い、それぞれの重要度に応じてマッピングをすることで特に重要度の高いものを特定しました。

今後は特定されたマテリアリティへの対応方針を設定し、方針の実行を通じて、サステナブルな社会・環境の構築への寄与と企業価値向上に取り組んでまいります。

	マテリアリティ	重要性が高いと考える理由	取り組み事例
事業を通じた社会課題の解決	労働安全性の強化	労働安全性は基本的な人権尊重につながるものであり、生産設備メーカーである当社にとっては特に重要な要素であるため。	<ul style="list-style-type: none"> 安全性能を高めた商品の開発 労働安全に関するスクール実施 自社の安全衛生委員会の継続的な取り組み 人権ポリシーの徹底とDDの実施
	お客様工場の生産性向上	お客様工場の生産性向上によって、付加価値の高いモノが多くの人々の手に届き、世界の人々の生活水準（医療、学習等）の向上が期待できるため。	<ul style="list-style-type: none"> 高速、高精度なロボットの開発、販売 生産性向上のための各機能の搭載 充実した保守、サービス体制
	気候変動への対応	気候変動は世界中の多くの人々にとって生活環境が脅かされる大きな問題とされており、企業も世界を構成する一員として取り組むべきものであるため。	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ商品の開発、販売 自社事業所の使用電力を再生エネルギーへ切り替え ガソリン車から環境配慮型自動車への切り替え 自社拠点およびサプライチェーンの気候変動リスクの洗い出しとBCPの策定
当社グループの持続的成長に向けた経営基盤の強化	人的資本の強化	付加価値を生み出す源泉は人であるため。	<ul style="list-style-type: none"> 人権ポリシーの徹底とDDの実施 イノベーションが起こりやすい風土、環境づくり それぞれのライフステージに対応した継続的に働ける制度 効果的な研修
	コーポレート・ガバナンスの強化	ステークホルダーからの信用がなければ事業運営が困難となるため。コンプライアンス違反に伴う罰則やブランド価値低下、セキュリティ不全によるデータ流出なども事業運営にとって驚異となるため。	<ul style="list-style-type: none"> 1/3以上の社外取締役 指名・報酬委員会設置（委員長は社外取締役が務める） 取締役会の実効性評価 内部通報制度 従業員へのコンプライアンス研修 データセキュリティの向上